

「百舌鳥・古市古墳群」

世界遺産一覧表への記載決定に当たっての

柴山 昌彦 文部科学大臣談話

アゼルバイジャンのバクーで開催されている第43回世界遺産委員会において、「百舌鳥・古市古墳群」が、人類全体の貴重な遺産として世界遺産一覧表に記載されることが決定されたことを大変喜ばしく思います。

本資産は、世界最大の巨大前方後円墳である仁徳天皇陵古墳を含む大きさ、形状さまざまな古墳群として、土で造られた建造物群であり、古墳時代の我が国独自の文化を物語るものです。

今回、世界の人々に祝福されつつ見事に資産登録を実現された地元関係者のたゆまぬ御努力に心から敬意と祝意を表します。

文部科学省としては、地元の関係各位及び関係省庁と連携しながら、人類の共通の宝である貴重な世界遺産の保護に万全を期し、後世に確実に引き継ぐとともに、その価値を積極的に発信してまいります。